

令和7年度

大学院医学系研究科

# 医科学専攻（博士課程）

## 学生募集要項

（令和7年4月・10月入学）

本研究科では令和6（2024）年度に実施する入学試験からインターネット出願登録が必要になります。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、インターネット出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。



MAKE NEW STANDARDS.  
東海国立  
大学機構



岐阜大学

# 目 次

まえがき	1
岐阜大学大学院医学系研究科の教育研究上の目的	2
医科学専攻（博士課程）アドミッション・ポリシー	3
I 医科学専攻（博士課程）学生募集要項	
1. 募集人員	4
2. 講座・分野	4
3. 入学時期	5
4. 出願資格	5
5. 出願資格の認定	6
6. 出願手続	7
7. 入学者選抜方法	14
8. 合格者発表	14
9. 入学手続	15
10. 入試結果の情報開示	15
11. 個人情報の取扱い	17
II 障害のある者等の出願にあたっての事前相談	17
III 大学院設置基準第14条による教育方法の特例による教育の実施 について	18
IV 長期履修制度について	18
V 研究指導教員及び研究内容	19
VI 過去5年間の入試統計	28

## ま え が き

超高齢化社会の到来，ヒト遺伝子解読の終了等，21世紀が始まった現代社会の急速で著しい生命科学の変容に的確に対応するためには，知の再構築と新たなパラダイム（時代を反映する思想・考え方）の創出が焦眉の課題となっています。

本研究科では，最新の医学研究及び高度な技術開発を推進しており，より高い研究能力・技術開発能力・臨床能力の養成を進めています。平成12年度からは社会に開かれた大学院の実現を目指し，社会人を対象とした昼夜開講制を導入し，夜間や特定の時間又は特定の時期に大学院の授業・研究指導の時間を設け，現に診療にあたっている開業医や病院勤務医並びに官公庁等に勤務する医学及び医学関連分野の研究者等に大学院の授業・研究指導を受け易くしています。

また，自由度の高い履修が可能なカリキュラムを設定するとともに，研究指導教員・研究助言教員による複数指導体制を導入するなど，学生の立場に立った教育研究を行い，学生・教員が一体となって国際的に評価される独創的な研究を進めます。

## 岐阜大学大学院医学系研究科の教育研究上の目的

岐阜大学大学院医学系研究科は、設置している課程や専攻に則した教育を行う教育機関として次のとおり教育研究上の目的を定め、実施する。

医科学専攻にあつては、高度で先進的・学際的・創造的な探求心を持続し、人間性豊かな教育者及び研究者並びに先端医療の知識・技術のみならず研究遂行上不可欠な倫理観をもつ臨床医を育成することを教育上の目的とします。

看護学専攻にあつては、看護における研究課題の探求資質をもち、倫理観や科学的思考力に裏打ちされた高度な看護を実践できる資質をもった人材を育成することを教育上の目的とします。

医療者教育学専攻にあつては、グローバルな視野をもちつつ、ローカルな視点から、医療の質向上に寄与する医療者教育を展開し先導するため、多職種の人材と連携し、医療者教育を設計・実践・改善・発信できる能力のあるリーダーを育成することを教育上の目的とします。

このように教育機関として人材育成を推進するとともに、地域の医療機関の先導的機関の役割を担いながら、国内外の医療機関及び教育機関や研究機関との交流や相互理解を深め、倫理観のある先端医療の研究機関の一翼を担います。

# 医科学専攻（博士課程）

## アドミッション・ポリシー

### 【教育目標】

医科学専攻では、医学研究と医療における国際的通用性の高い人材養成システムの確立、研究成果の地域並びに国際社会への発信と展開及び生命医科学研究の臨床医学への応用等を達成し、高度先進医学・医療の発展という社会のニーズを実現するための教育研究体制の確立を目標としています。

それにより高度で先端的・学際的・創造的研究を推進し、将来の医学を担うリーダーとなるべき優れた生命医科学研究者・臨床医学研究者・生命医科学教育者及び高度な医学的素養を身に付けた臨床医並びに急速に発展している現代医療に対応できる医療行政専門家を養成します。

### 【求める学生像】

- ①本専攻の教育理念、教育目標に向けた確固たる目的意識をもち、
- ②その分野の研究をする上で必要な幅広い基礎学力を備え、
- ③課題探究心と柔軟な発想に長け、
- ④これからの地域や国際社会でリーダーとして活躍し、医科学に貢献できる  
実行力があり、
- ⑤倫理観に裏打ちされた研究ができる、  
学生が入学することを期待します。

# I 医科学専攻（博士課程）学生募集要項

1. 募集人員 47人

2. 講座・分野

講 座	分 野
生 命 原 理 学	解剖学
	生体物理・生理学
	分子病態学
	神経生理学
	薬理病態学
	再生機能医学
生 命 秩 序 学	高次神経形態学
	細胞情報学
	形態機能病理学
	法医学
	生命機能分子設計学
生 命 関 係 学	寄生虫学・感染学
	病原体制御学
	腫瘍病理学
	疫学・予防医学
	医学系倫理・社会医学
	産業衛生学
	医学教育学
	医療経済学
内 科 学	消化器内科学
	臨床腫瘍学
	循環器内科学
	呼吸器内科学
	血液・感染症内科学
	糖尿病・内分泌代謝内科学
	膠原病・免疫内科学
	腎臓内科学
	総合診療科・総合内科学
外 科 学	心臓血管外科学
	呼吸器外科学
	消化器外科・小児外科学
	乳腺外科学
脳 神 経 科 学	脳神経内科学
	脳神経外科学
	脳病態解析学（連携大学院）
	精神医学
感 覚 運 動 医 学	整形外科学
	リハビリテーション学
	皮膚科学
	形成外科学
	眼科学
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
	口腔外科学

講 座	分 野
生 体 管 理 医 学	麻酔科・疼痛医学
	泌尿器科学
	救急・災害医学
	放射線医学
	臨床検査医学
	臨床薬剤学
	臨床病理学
生 殖 ・ 発 育 医 学	小児科学
	産科婦人科学

### 3. 入学時期

本選抜試験の対象となる入学時期は、「令和7年4月」又は「令和7年10月」である。ただし、出願時に4月入学を希望した者が、10月入学に変更したい場合、令和7年2月7日（金）までに理由書を岐阜大学医学系研究科・医学部医学科学務係に提出すること。

### 4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者及び令和7年3月末日（4月入学希望者）若しくは9月末日（10月入学希望者）までに該当する見込みの者も可とする。

- ① 大学における医学，歯学又は修業年限6年の薬学，獣医学を履修する課程を卒業した者
- ② 外国において学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は医学，歯学，薬学又は獣医学）を修了した者
- ④ 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において，修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑥ 医学又は歯学以外の大学院研究科において修士課程を修了した者等文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
- ⑦ 大学（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し，又は外国において学校教育における16年の課程（医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了し，本研究科において，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑧ 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学における医学，歯学又は修業年限6年の薬学，獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，24歳に達した者及び令和7年4月1日までに24歳に達する者

注) 医師の資格を有しない者は，大学院において研究を遂行する際に，医師の資格が必要な臨床研究等を行うことはできません。

## 5. 出願資格の認定

出願資格⑥及び⑧のいずれかにより出願しようとする者は、次に示すとおりです。出願に先立ち、事前に出願資格の審査を受け、出願資格の認定を受ける必要がありますので、関係書類を指定された期間に提出してください。

- 出願資格⑥に定める「文部科学大臣の指定した者」とは次のいずれかの要件を満たす者をいう。
  - ① 旧大学令（大正7年勅令第388号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
  - ② 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
  - ③ 修士課程又は学校教育法（昭和22年法律第26号）第99条第2項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む。）で本大学院において、大学の医学、歯学、薬学のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
  - ④ 大学（医学、歯学、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
  - ⑤ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 出願資格⑧に定める「本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者」とは、短期大学、高等専門学校、専門学校等の卒業者や外国大学日本分校等の修了者等で、
  - ① 大学の研究生等としての研究歴を有する者
  - ② 実務経験等を通じ医学分野について一定の資質・能力を有する者
 等大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者をいう。

### (1) 出願資格審査に必要な提出書類

提出書類等	出願資格		摘 要
	⑥	⑧	
出願資格審査申請書	○	○	本学所定の用紙※
履歴書（出願資格審査用）	○	○	本学所定の用紙※
研究歴証明書	○	○	本学所定の用紙※
大学(大学院)の卒業（修了）証明書	○		出身大学（研究科）長が作成し、厳封したものの。
最終学歴の卒業（修了）証明書及び成績証明書		○	出身学校長等が作成し、厳封したものの。
研究業績	○	○	論文等の目録及び別刷

返信用封筒（結果通知書）	○	○	694円切手を貼付した長形3号（23.5 cm × 12 cm）の封筒に本人の郵便番号、住所、氏名を記載してください。 *郵便料金が改訂された場合は、改定後の料金分の切手を貼付してください。
--------------	---	---	--

※本研究科ホームページからダウンロードください。

(<https://www.med.gifu-u.ac.jp/examinee/grad/med.html>)

(2) 出願資格審査書類の提出期間と結果通知

	提出期間	審査結果
第1次	令和6年8月1日（木）～8月5日（月） 17時まで（必着）	令和6年8月23日（金）までに 審査結果を本人に郵送します。
第2次	令和6年10月15日（火）～10月17日（木） 17時まで（必着）	令和6年10月25日（金）までに 審査結果を本人に郵送します。
第3次 ※	令和6年12月16日（月）～12月18日（水） 17時まで（必着）	令和7年1月8日（水）までに 審査結果を本人に郵送します。

注1) 第3次, 秋季入学の募集は, 募集定員を満たした時は実施しない場合がありますので, 出願にあたっては募集の有無を志望する分野又は医学科学務係までお問い合わせください。

注2) 検定料は, 出願資格が認められた後, 「6. 出願手続」の出願期間内に支払ってください。

(3) 提出方法

- 持参の場合 受付は, 平日9時から17時までとします。  
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係（医学部教育・福利棟2階）
- 郵送の場合 提出期間最終日までに必着とします。  
「簡易書留」で, 封筒の表に「医学系研究科医科学専攻出願資格審査申請書在中」と朱書きし, 郵送してください。

(4) 提出先及び問合せ先

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係  
電話 058(230)6079 (直通)

(5) その他

必要に応じ, 面接（口述試験）を実施することがあります。この場合には事前に志願者に連絡します。

## 6. 出願手続

出願手続は, インターネット出願サイト（10頁以降参照）で出願登録及び入学検定料の支払いを行った後, 願書受付期間内に到着するように出願書類を提出してください。出願期間内に到着した書類に不備が無く, かつ出願資格を有することが確認された時点で, 出願手続が完了します。

インターネット出願登録及び検定料払込期間

第1次	令和6年9月2日（月）～9月6日（金）13時まで
第2次	令和6年11月1日（金）～11月8日（金）13時まで
第3次	令和7年1月20日（月）～1月24日（金）13時まで

検定料の支払い期限は, 出願登録日を含め4日間(※)であり, 支払期限内に入金がない場合は, 出願登録は自動的に取り消しとなります。出願登録が取り消しとなったときは再登録をしてください。

※インターネット出願締切が, それよりも早く到来する場合, インターネット出願締切が期限となります。

検 定 料 (30,000円)	<p>入学検定料のほかに支払手数料が必要となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。</p> <p>※令和7年3月に本学大学院博士前期(修士)課程を修了見込みの者で、引き続き本研究科に進学を志願するものは不要です。この場合の手続き方法については、医学科学務係までお問い合わせください。</p>
--------------------	--

(1) 出願期間及び時間

	出願期間等	備 考
第1次	令和6年9月2日(月)～9月6日(金) 各日とも9時から17時まで	郵送の場合は、令和6年9月6日(金)必着とします。
第2次	令和6年11月1日(金)～11月8日(金) 各日とも9時から17時まで	郵送の場合は、令和6年11月8日(金)必着とします。
第3次 ※	令和7年1月20日(月)～1月24日(金) 各日とも9時から17時まで	郵送の場合は、令和7年1月24日(金)必着とします。

※第3次, 秋季入学の募集は、募集定員を満した時は実施しない場合がありますので、出願にあたっては募集の有無を志望する分野又は医学科学務係までお問い合わせください。

(2) 出願方法

出願を希望する者は、あらかじめ希望する分野の研究指導教員に相談のうえ、出願してください。

インターネット出願サイトから宛名シートを印刷し、市販の角形2号の封筒(縦33.2cm×横24.0cm)に貼り付けて、持参若しくは郵送してください。

持参の場合 受付は、平日9時から17時までとします。  
岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係(医学部教育・福利棟2階)

郵送の場合 提出期間最終日までに必着とします。

(3) 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 岐阜大学大学院志願票	インターネット出願サイトから出力されたものを、A4サイズで片面カラー印刷してください。 ※出願前3か月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きの顔写真データを用意し、インターネット出願サイトからアップロードしてください。
② 履 歴 書	本学所定の用紙※を使用してください。
③ 成績証明書 (又は志望理由書)	出身大学長(学部長)が作成し、厳封したもの。 (出願資格認定時に提出済みの者は不要)
④ 卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書	出身大学長(学部長)が作成したもの。 (出願資格認定時に提出済みの者は不要)
⑤ 受験承認書	現に在職中の者は、本学所定の用紙※により、勤務先の所属長が作成したものを提出してください。
⑥ 類型該当性の自己申告書	所定の用紙※に記入してください。(全員提出) 類型①～③に該当する場合はその根拠を記載し、海外機関の奨学金の受給通知等も提出してください。
⑦ 外国語試験申込書 受験票・写真票	所定の用紙※に記入のうえ、写真(出願前3か月以内に撮影した、上半身・無帽・正面向き、縦5cm×横4cm)を貼付してください。
⑧ 住民票の写し (外国人のみ)	市区町村発行のもの。登録していない場合は、パスポートの写し(本人氏名、生年月日、性別、在留資格の掲載がある部分及び日本国査証の部分。)
⑨ 返信用封筒 (外国語試験受験票等送付用)	郵送により外国語試験受験票の交付を希望する者は、長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、簡易書留相当の郵便切手(434円)を貼付して提出してください。 *郵便料金が改訂された場合は、改定後の料金分の切手を貼付してください。

<p>TOEIC® 公開テストの スコアシート又は、 T O E F L ® の ⑩ ス コ ア シ ー ト ( 原 本 ) *TOEIC / TOEFL 換算 希 望 者 の み</p>	<p>出願時に提出可能なものに限り、両方を受験した者は、いずれかを提出してください。なお、提出した原本は原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、サイズに見合う返信用封筒に送料分の郵便切手を貼り受取り先の住所・宛名を記入して出願書類に同封してください。試験終了後に返送します。</p>
--	---

※本研究科ホームページからダウンロードください。

(<https://www.med.gifu-u.ac.jp/examinee/grad/med.html>)

注1) 出願資格審査で認定を受けた者は、「出願資格認定通知書」の写しを提出してください。

なお、出願資格審査申請時に提出済みの書類については不要です。

注2) ⑩のTOEIC® 公開テストのスコアシート又は、T O E F L ® のスコアシートはTOEIC / TOEFL換算希望者のみ提出してください。

詳細については、医学系研究科・医学部医学科学務係に問い合わせてください。

#### (4) 検定料返還に関する留意事項

①次の場合を除き、一旦領収した検定料は原則として返還しません。

- a 出願書類が受理されなかった場合
- b 検定料を誤って二重に支払った場合
- c 検定料を支払ったが、出願書類を提出しなかった場合

#### ②返還請求の方法

次のa～fを明記した検定料返戻請求書を作成し、「支払いが確認できる書類（領収書（レシート形式）等）」を添付して、岐阜大学医学系研究科・医学部医学科学務係（〒501-1194 岐阜市柳戸1番1）まで郵送してください。（封筒には「検定料返戻請求書 在中」と朱書きしてください。）

なお、返還請求は下記③の期間内をお願いします。

- a 返還請求の理由
- b 志願者氏名（フリガナ）、押印
- c 現住所
- d 連絡先電話番号
- e 志願専攻名等
- f 検定料を受け取る銀行名、支店名、預貯金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）

#### ③返還請求期間

第1次募集：令和6年9月10日（火）～9月24日（火）

第2次募集：令和6年11月12日（火）～11月25日（月）

第3次募集：令和7年1月31日（金）～2月12日（水）

#### 『大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除について』

岐阜大学では、大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行います。

詳細は岐阜大学のホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp>) を参照してください。

該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出してください。

#### (5) 安全保障輸出管理の「みなし輸出」の改訂について

2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、学生が本学に出願の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、一部の学生においては、採用、合格時に「誓約書」の提出が必要となります。

# インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



## STEP

1

### 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。  
必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…顔写真データ、各種証明書(※詳細は各研究科学生募集要項参照)



## STEP

2

### インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/gifu-gs/>



## STEP

3

### マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。  
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。



- ⑤ ログイン画面から登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にて **ログイン** をクリックしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨登録完了となります。  
マイページへ  
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

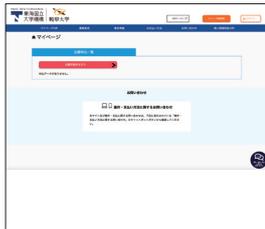
※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。  
出願受付期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

## STEP

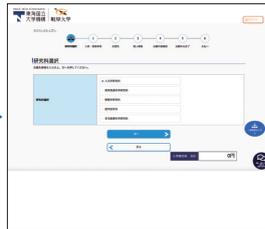
# 4

## 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の  
**出願手続きを行う** ボタン  
から登録画面へ



②研究科の選択



③入試区分と留意事項の確認



④出願専攻等の選択



⑤顔写真のアップロード  
**写真選択へ** ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の  
入力



⑦出願内容の確認  
**志願票(サンプル)** ボタンを  
クリックすると志願票、宛名シートが確認  
できます。



⑧申込登録完了  
**引き続き支払う** ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。



お支払い期限は申込日を含め4日間  
です。ただし、Web出願締切がそれ  
よりも早く到来する場合、Web出願締切  
が期限となります。

⑨入学検定料の支払い方法  
●コンビニエンスストア  
●ペイジー対応銀行ATM  
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF  
(イメージ)  
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の  
選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンス  
ストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号  
×モ(13桁)

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済  
番号メモ(11桁)

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号  
メモ(11桁)

確認番号  
×モ(6桁)

収納機関番号  
(5桁) **58021** ※収納機関番号は、ペイジーで  
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を  
許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



**入学検定料支払い後は、登録内容の修正・変更ができませんので、入学検定料支払い前に必ず登録内容を確認し、誤りがあれば、再度登録してください。**

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

# 入学検定料の支払い

お支払い期限は申込日を含め4日間です。  
ただし、Web出願締切がそれよりも早く到来する場合、Web出願締切が期限となります。

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、  
FamilyMart



## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

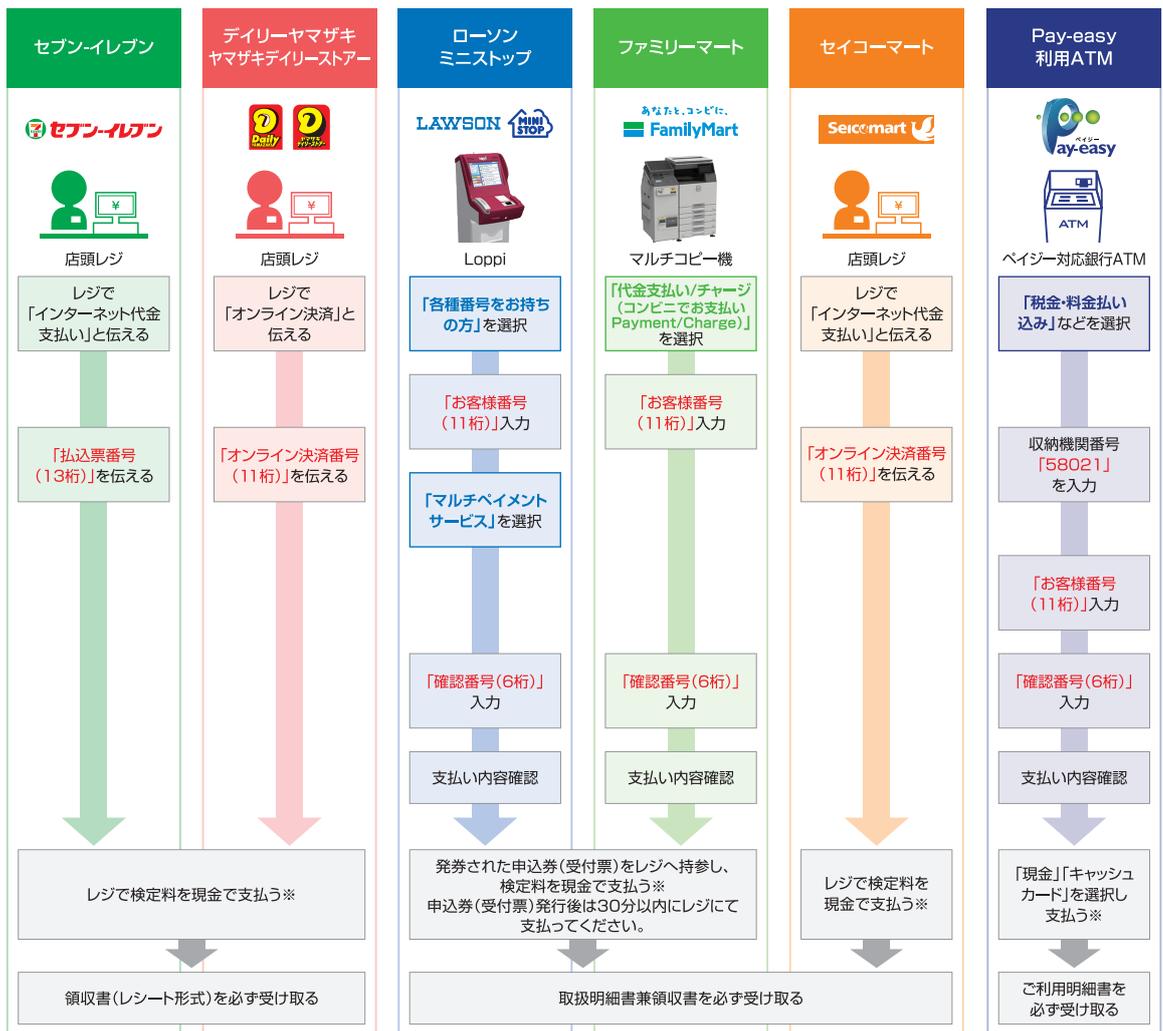
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

### 3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

## STEP

# 6

## 必要書類の印刷と郵送

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を全て**カラー印刷**し、その他の必要書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**簡易書留速達郵便**」で郵送してください。

### 出願に必要な書類

**▲ 募集要項を必ず確認してください**

- インターネット出願サイトから印刷する書類  

- 本学研究科のホームページからダウンロードし、作成する書類  

- 出身大学等に発行を依頼する証明書  


出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

### ■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は学生募集要項を参照してください。

※一旦受理した入学検定料・必要書類は学生募集要項で明記しているものを除き一切返却しません。



出願書類提出用宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成

## 〈出願完了〉

### 出願時の 注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。インターネットでの登録が完了しても出願書類の提出期限に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

それぞれの期限は各研究科の学生募集要項を参照してください。

インターネット出願は24時間可能です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

## STEP

# 7

## 受験票の印刷

出願を受け付けた後、受験票の印刷が可能になりましたら、出願時に登録されたメールアドレスへ通知します。メールが届かない場合でも、試験前日までにインターネット出願サイトにログインし、各自で**A4用紙にカラー片面印刷**をして**試験当日に持参**してください。



### 受験票

氏名:○○○○  
入試:×××入試

## 7. 入学者選抜方法

### (1) 試験期日

	外国語（英語）	専門科目（口述試験）	外国人志願者の面接試験
第1次	令和6年9月30日（月） 17時30分～19時30分	令和6年9月30日（月）～10月2日（水）の指導教員の指定した日時	別途連絡
第2次	令和6年11月21日（木） 17時30分～19時30分	令和6年11月21日（木）～11月25日（月）の指導教員の指定した日時	別途連絡
第3次	令和7年2月6日（木） 17時30分～19時30分	令和7年2月6日（木）～2月12日（水）の指導教員の指定した日時	別途連絡

#### 【外国語（英語）試験に関する注意事項】

注1) 過去に岐阜大学医学（系）研究科が実施した外国語試験（英語）に合格している場合には、本選抜試験の外国語（英語）試験を受験する必要がありません。ただし、合格通知書に記載のある試験日から有効とし、10年の有効期限とします。

注2) 外国語（英語）試験は、辞書の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書の持ち込みは不可です。

注3) TOEIC 800点以上または TOEFL (iBT) 79点以上) のいずれかの成績を提出することにより、本選抜試験の外国語（英語）試験に換算することができます。成績証明書は、出願する年度の前々年度の4月以降に受験した TOEIC 又は TOEFL (iBT) の成績を証明されたものに限りま。

### (2) 試験場

岐阜大学医学部本館（岐阜市柳戸1番1）

### (3) 選抜方法

入学者の選抜は、外国語（英語）、専門科目（口述試験）及び出願書類等の結果に基づいて、総合的に選抜します。

#### ① 配点

外国語（英語）	専門科目（口述試験）
100	100

#### ② 欠格事項

外国語（英語）及び専門科目（口述試験）の得点が、いずれか1科目でも60点未満の場合は、合格対象としません。

## 8. 合格者発表

第1次	令和6年10月30日（水）正午
第2次	令和6年12月25日（水）正午
第3次	令和7年3月7日（金）正午

岐阜大学ホームページ及び岐阜大学医学部教育・福利棟2階玄関ホールに合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者に対しては合格通知書を送付します。

## 9. 入学手続

### (1) 入学手続について

岐阜大学のホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp>) 上にて、令和7年2月頃入学手続の詳細を掲載します。ホームページの案内に従い速やかに手続を進めてください。

### (2) 入学辞退について

入学手続を所定の期日までに行わない者は、本学への入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなします。

### (3) 入学手続き時に要する経費について

入学料：282,000円（予定額）

学生教育研究災害傷害保険料：2,430円（付帯賠償含む）

本学大学院修士（博士前期）課程修了見込みの者で、引き続き本研究科へ入学する場合又は国費留学生（日本政府）は不要です。

・入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用されます。

### (4) 授業料について

授業料（前学期分） 267,900円（年額535,800円）（予定額）

① 前期分の授業料は、5月に口座振替にて納入していただきます。

② 入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな料金が適用されます。

※入学料及び授業料は、徴収猶予及び納付免除制度があります。

詳しくは岐阜大学のホームページをご覧ください。

## 10. 入試結果の情報開示

### (1) 開示内容

受験者本人からの請求に基づき、本人の得点（合否判定に使用した合計点）の開示及び合格者の試験成績（最高点、平均点、最低点）の公表を併せて行います。ただし、合格者が10人以下の場合は、最低点の公表は行いません。また、合格者が4人以下の場合は、本人の得点のみを開示し、合格者の試験成績の公表は行いません。

### (2) 開示の請求方法

請求できるもの 本人に限ります。

請求期間 合格発表後1か月間（請求用紙の配布も同日以降とします。）

請求方法 請求先（入試課）に郵送してください。

請求先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学学務部入試課

必要書類 ・岐阜大学入試情報開示請求書

・岐阜大学受験票（コピー不可、開示の際にお返しします。）

・返信用封筒（開示通知書送付用）

長形3号封筒に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、434円分の切手（簡易書留料金）を貼付してください。

\*郵便料金が改訂された場合は、改定後の料金分の切手を貼付してください。

### 開示請求書用紙の入手

・次のいずれかの方法で入手できます。（請求期間中のみ入手可）

①岐阜大学のホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp/>) からプリントアウトする。

②郵便で請求する。

返信用封筒（長形3号の封筒（縦23.5cm×横12.0cm）に84円切手貼付）を「請求先」あてに送ってください。

\*郵便料金が改訂された場合は,改定後の料金分の切手を貼付してください。

(3) 開示方法

本人に開示決定通知書を郵送します。

請求受付後,開示までに約1か月を要しますので,あらかじめ了承願います。

## 1 1. 個人情報の取扱い

入学願書等に記載された個人情報は、入学者選抜の実施のほか、入学後の管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜に係る統計・調査・分析（ただし、個人識別ができない状態で行う。）業務等を行う目的をもって本学が管理します。これ以外に、出願者の個人情報を利用する場合は、書面により出願者の同意を得ることとします。

## II. 障害のある者等の出願にあたっての事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱等）があり、受験上特別な配慮を必要とする場合は、下記の書類を添えて出願受付開始の1か月前までに下記の間合せ先へ相談してください。

- a 障害者等受験上の配慮申請書（本学所定の用紙）
- b 医師の診断書又は身体障害者手帳の写し

※本学所定の用紙の請求方法

障害者等受験上の配慮申請書の用紙を請求する場合は、返信用封筒として「長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）」にあなたの受信住所、郵便番号、氏名を記入の上、84円切手を貼付し、これを折りたたんでも構いませんので、定型内の封筒に入れ、表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書し、下記へ申し込んでください。

\*郵便料金が改訂された場合は、改定後の料金分の切手を貼付してください。

間合せ先

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1

岐阜大学医学系研究科・医学部 医学科学務係

電話 058(230)6079(直通)



## V 研究指導教員及び研究内容

講座	分野	指導教員	研究内容
生命 原 理 学	解剖学	未定	(参考) 1. Cross-kingdom RNAi: Extracellular vesicles を用いた界を超える細胞間コミュニケーションの解析 2. 人体解剖実習および Cadaver Surgical Training (CST) に用いるご献体の防腐・固定処理方法の組織学的評価と改良 3. がんにおける microRNAs の機能解析
	生体物理・生理学	任書晃 Tel:058-230-6303 E-mail: nin.fumiaki.u7@f.gifu-u.ac.jp	生体物理・生理学教室では、内耳で音刺激が受容されるメカニズムや、重力をはじめとした前庭の刺激が自律神経を介して生体に与える影響を、電気生理学・生物物理学・光遺伝学・免疫組織化学を総合的に駆使して研究しています。工学（特に光学）との異分野連携を通じた学際的アプローチが研究室の特色です。詳細は、 <a href="https://ninlab.weebly.com">https://ninlab.weebly.com</a>
	分子病態学	長岡 仁 Tel 058-230-6206 E-mail: nagaoka.hitoshi.f1@f.gifu-u.ac.jp	1. 抗体記憶形成・維持の分子機構の解明 2. Bリンパ球最終分化時の運命決定機構の研究 3. 抗体遺伝子改変の分子機構の研究
	神経生理学	任書晃 Tel:058-230-6303 E-mail: nin.fumiaki.u7@f.gifu-u.ac.jp	神経科学領域において、神経幹細胞の増殖・分化誘導とアポトーシス（変性）機構の解明は神経疾患の治療法の開発にとり重要な課題である。当研究室では、アポトーシスと小胞体ストレスシグナルを制御する遺伝子及びファイトケミカルを同定し、培養細胞から固体レベルでの作用機構について、分子生物学、細胞生物学、及びマウス遺伝学を駆使して研究を行う。 特に、アルツハイマー病に代表される神経変性疾患の発症機構の解明と予防法の開発について取り組む。
	薬理病態学	兵藤 文紀 Tel 058-230-6214 E-mail: hyodo.fuminori.i4@f.gifu-u.ac.jp	1. 量子（超偏極）MRI 技術を用いた疾患の代謝イメージングに基づく早期病態診断法および、薬の早期治療効果法の開発 2. 量子技術を用いた新たな創薬ツールの開発 3. 酸化還元（レドックス）イメージング法によるミトコンドリア関連疾患の解析 4. 肝細胞の細胞内情報伝達機構の解明と薬物の影響 5. 神経細胞がんの細胞内情報伝達機構の解明と薬物の影響 6. 代謝性疾患における血小板機能に関する研究

講座	分野	指導教員	研究内容
生命原理学	再生機能医学	未定	(参考) 1. 特定の細胞・組織・臓器にとらわれることなく、幹細胞の増殖・分化メカニズムや幹細胞自身の自己再生機構を、細胞生物学的手法や分子生物学的手法、網羅的遺伝子発現解析などを用いて解析し、器官発生や再生現象の分子制御機構の解明に向けた研究を行う。 2. 特に親知らず等の歯髄に存在する歯髄細胞については、これまでの20年間で集めた細胞ストックを利用した細胞のトレーサビリティや、免疫拒絶問題の解決など、将来の臨床応用に向けた課題に取り組む。 詳細は <a href="https://www1.gifu-u.ac.jp/~saisai2/">https://www1.gifu-u.ac.jp/~saisai2/</a>
	高次神経形態学	山口 瞬 TEL 058-230-6248 E-mail: yamaguchi.shun.s5@f.gifu-u.ac.jp	1. 記憶・学習のメカニズムの解明 2. 蛍光タンパク質発現トランスジェニックマウスを用いた脳機能イメージング 3. 体内時計に関する研究 4. 遺伝子工学および光学を用いた生体现象の可視化 5. 神経細胞の老化メカニズムの解明 6. 生体組織の透明化
生命秩序学	細胞情報学	大沢 匡毅 Tel:058-230-6502 E-mail: osawa.masatake.r2@f.gifu-u.ac.jp	1. 細胞周期制御の分子メカニズム 2. 発がんの分子メカニズム 3. 細胞の生と死のシグナル 4. 細胞のストレス応答
	形態機能病理学	竹内 保 TEL 058-230-6361 E-mail: takeuchi.tamotsu.p1@f.gifu-u.ac.jp	1. 分子生物学技術の診断病理学への応用の研究 2. クロマチン再構成複合体異常がもたらす腫瘍発生の研究 3. 癌発生・増殖に関わる癌・間質相互作用の分子病理学的研究
	法医学	道上 知美 TEL 058-230-6418 E-mail: michiue.tomomi.y6@f.gifu-u.ac.jp	1. 突然死に関する病理学的研究 2. 致死的傷病発生後の生体反応に関する研究 3. 種々の病態における死後生化学検査に関する研究 4. DNA多型に関する研究
	生命機能分子設計学	大沢 匡毅 Tel:058-230-6502 E-mail: osawa.masatake.r2@f.gifu-u.ac.jp	1. 皮膚上皮幹細胞の制御機構の解明 2. メラノサイトの幹細胞の発生機構の探索 3. 毛包の形成機構の解明 4. 遺伝子改変マウス作製法の開発
	寄生虫学・感染学	前川 洋一 TEL058-230-6365 E-mail: maekawa.yoichi.r4@f.gifu-u.ac.jp	1. 腸管老化における抗体の役割の解明 2. 免疫応答における代謝機構の役割の解明 3. 抗マalaria薬治療における宿主免疫系の役割の解明 4. 旋毛虫感染の病態生理の解明とその応用研究
生命関係学	病原体制御学	永井 宏樹 TEL 058-230-6488 E-mail: nagai.hiroki.d3@f.gifu-u.ac.jp	1. 細菌感染の分子基盤 2. 細菌とその宿主をめぐる微生物生態系 3. 細菌病原性の起源と進化
	腫瘍病理学	原 明 TEL 058-230-6225 E-mail: hara.akira.y7@f.gifu-u.ac.jp	1. 悪性腫瘍動物モデルを使った腫瘍発生・増殖のメカニズムの解明 2. ヒト臨床検体を用いた悪性腫瘍の病理組織学的解析 3. 毛細血管と疾患との関連メカニズムの研究

講座	分野	指導教員	研究内容
生命関係学	疫学・予防医学	未定	(参考) 1. がんの疫学研究 2. 生活習慣病の疫学研究 3. 栄養疫学研究 4. 子どもの健康 5. 女性の健康 6. 行動医学
	医学系倫理・社会医学	未定	(参考) 1978年に「バイオエシックス百科事典」が出版されており、その頃に「生命倫理学」が成立したといわれている。もとより医の倫理学は、安楽死、脳死・臓器移植、人工妊娠中絶など、従来の医療行為の中では禁止されていた行為の許容基準を明らかにする目的で集約されてきたと解される。 ところが、昨今クローン個体問題が浮上し、生命倫理の重心が個人の自己決定から公共選択に移動してきており、そこにはアメリカ型とヨーロッパ型の違いが明らかになってきている。医学・医療の実際を知る者が、医科学に伴う全ての倫理的、社会医学的な問題をターゲットとして、日本での然るべき生命倫理を考究すべくその教育・研究を行う。
	産業衛生学	未定	(参考) 1. 物理的環境刺激の生体影響に関する研究 2. 職場のメンタルヘルスに関する研究 3. 屋外労働の快適化に関する研究
	医学教育学	西城 卓也 Tel 058-230-6472 E-mail: saiki.takuya.z1@f.gifu-u.ac.jp	医学教育学は、徐々に専門化されその学術体系を発達させてきたことに伴い、教育学的根拠を提示したり、より良い教育モデルを開発・研究するニーズが高まっている。本分野では、大学院生の志向や専門性にあわせて研究テーマを選択し研究支援・推進している。本学大学院医学系研究科の医療者教育学専攻修士課程 ( <a href="https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/graduate/master.html">https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/graduate/master.html</a> )とも連動を図っている。 1. 医療系の学習者の熟達化研究 2. 医療系指導者の能力開発・研究 3. 医療者教育学の教授法開発・研究 4. 医療者教育学の評価開発・研究 5. 医療者教育学のカリキュラム開発・研究 6. 学習者の教育心理学研究 7. 医療者教育学の質的研究
	医療経済学	未定	(参考) 1. 医療における生産性及び効率性に関する研究 2. 予防医療に対する需要分析 3. 手術待機期間に関する研究 4. レセプト情報分析
内科学	消化器内科学	清水 雅仁 Tel: 058-230-6308 E-mail: shimizu.masahito.j1@f.gifu-u.ac.jp	1. 急性・慢性肝不全の病態と治療に関する研究 2. 核内受容体を分子標的とした発癌予防・癌の分化誘導療法に関する基礎的・臨床的研究 3. 天然化合物を用いた消化器発癌予防に関する研究 4. 炎症・肥満・代謝異常に関連した消化器発癌機序の解明とその抑制 5. 肝発癌早期診断に繋がるbiomarkerの検索 6. 消化器癌の内視鏡的診断・治療に関する研究

講座	分野	指導教員	研究内容
内科学	臨床腫瘍学	清水 雅仁 TEL: 058-230-6308 E-mail: shimizu.masahito.j1@f.gifu-u.ac.jp	1. がん化学療法の理論と有害事象 2. 主要がんの化学療法および管理法 3. 臨床試験の実際 4. がんにおける緩和医療
	循環器内科学	大倉 宏之 Tel:058-230-6520 E-mail: hokura@fides.dti.ne.jp	1. 心不全の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究 2. 虚血心筋保護のメカニズム解明と治療薬開発に関する研究 3. 不整脈の先進的治療に関する研究 4. 動脈硬化の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究 5. 高血圧・高脂血症の成因と治療に関する研究 6. 循環器疾患に対する AI 診断
	呼吸器内科学	未定	(参考) 1. 肺癌の病態解明と治療薬開発のための分子生物学的研究 2. 呼吸器疾患の先進的画像診断法の開発に関する研究 3. COPDの病態解明と治療薬開発のための基礎的・臨床的研究 4. 呼吸器感染症における薬物動態と有効性評価に関する臨床的研究 5. 呼吸器疾患に対する AI 診断
	血液・感染症内科学	清水 雅仁 TEL: 058-230-6308 E-mail: shimizu.masahito.j1@f.gifu-u.ac.jp	1. 悪性リンパ腫のリスクに応じた層別化治療の確立 2. 造血器悪性腫瘍の予後因子の同定と標的治療の探索 3. 高齢者造血器疾患の客観的評価と至適治療の開発 4. 造血器悪性腫瘍に対する造血幹細胞移植術の前処置の開発 5. 移植片対宿主病 (GVHD) に対する新規治療の開発
	糖尿病・内分泌代謝内科学	未定	(参考) 1. 糖尿病に代表される生活習慣病に関する研究 1-1. 成因及び病態に関する分子生理学的研究 1-2. 分子遺伝学的診断に関する研究 1-3. 栄養学的予防・治療に関する研究 1-4. 新規治療法の開発と安全性・有効性に関する研究 1-5. 患者教育・支援に関する研究 2. 内分泌疾患に関する研究 2-1. 下垂体・副腎疾患の診断と治療に関する研究 2-2. 甲状腺疾患の診断と治療に関する研究 2-3. 神経内分泌腫瘍の成因と治療に関する研究
	膠原病・免疫内科学	未定	(参考) 1. リウマチ・膠原病の成因及び病態に関する研究 2. リウマチ・膠原病の診断・治療に関する研究 3. リウマチ・膠原病に対する新規治療法の開発と安全性・有効性に関する研究

講座	分野	指導教員	研究内容
内科学	腎臓内科学	大倉 宏之 Tel:058-230-6520 E-mail: hokura@fides.dti.ne.jp	1. 動脈硬化の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究 2. 高血圧・高脂血症の成因と治療に関する研究 3. 腎疾患の成因と治療に関する基礎的・臨床的研究
	総合診療科・総合内科学	未定	(参考) 1. 脂肪細胞増殖・分化に関する研究 2. 膠原病の治療と合併症に関する研究 3. ステロイド糖尿病の予測診断と治療に関する研究 4. ステロイド骨粗鬆症に関する研究 5. 頸動脈エコーによる動脈硬化度定量に関する研究 6. 難病の遠隔医療に関する研究 7. 発熱疾患の鑑別に関する研究
外科学	心臓血管外科学	土井 潔 Tel:058-230-6320 E-mail: doi.kiyoshi.s0@f.gifu-u.ac.jp	1. 心臓血管における低侵襲手術に関する臨床研究 2. 心臓血管における臓器再生に関する研究 3. 心臓血管手術前後の生理機能の変化に関する研究 4. バイパス術後の虚血改善領域に関する研究
	呼吸器外科学	岩田 尚 Tel:058-230-6503 E-mail: iwata.hisashi.v5@f.gifu-u.ac.jp	1. 呼吸器外科におけるロボット支援下手術を含む低侵襲手術に関する臨床研究 2. 肺癌の病理学的免疫機構の解明に関する基礎研究 3. 肺癌における腫瘍抗原の解明と免疫応答機構に関する基礎研究 4. 手術デバイスの開発に関する臨床研究 5. 医療技術習熟用シミュレータの開発
	消化器外科・小児外科学	松橋 延壽 Tel:058-230-6233 E-mail: matsuhashi.nobuhisa.k6@f.gifu-u.ac.jp	1. 食道癌・胃癌・大腸癌・肝臓癌・膵臓癌の低侵襲手術（腹腔鏡およびロボット）の臨床研究 2. 消化器癌の化学療法および分子標的薬剤におけるトランスレーショナル・リサーチ（線虫試験 N-NOSE を含む） 3. 消化器癌における周術期栄養療法とその効果 4. 消化器癌のゲノム医療（SCRUM Japan GI-SCREEN） 5. 消化器癌におけるリキッドバイオプシーによるゲノム解析の有用性（GOZILA MONSTAR-SCREEN） 6. 消化器癌におけるナビゲーション・サージェリーの有用性 7. 消化器癌における抗癌剤耐性（5FU 耐性など）のメカニズム 8. 消化器癌発癌機構の分子生物学的検討と臨床応用 9. 消化器癌におけるコンバージョン・サージェリーの臨床研究（EORTC DREAM 試験を含む） 10. 高齢者消化器癌における薬物療法における臨床研究（胃癌：JCOG 試験を含む） 11. 食道癌・胃癌・大腸癌における薬物療法および手術療法における有効性における臨床研究（JCOG Group を含む）

講座	分野	指導教員	研究内容
外科学	乳腺外科学	二村 学 TEL 058-230-6233 E-mail: futamura.manabu.m3@f.gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ラジオ波焼灼療法 (RFA) を用いた、乳房温存療法に関する臨床研究</li> <li>2. バーチャルソノグラフィを用いた乳癌診断、ならびに乳癌薬物療法の非侵襲的評価法の開発</li> <li>3. 腋窩縮小手術の技術開発に関する研究</li> <li>4. 若年乳がん患者に対する、妊孕性温存およびカウンセリングの有用性の検討</li> <li>5. HER2 乳癌術前療法における新規プロトコルの開発</li> <li>6. 乳癌薬物療法の耐性機序解明に関する基礎的研究</li> <li>7. Warburg 効果と癌、癌代謝を利用した癌診断および癌治療法開発のための基礎的研究</li> <li>8. 癌微小循環に関する、基礎的臨床的研究</li> <li>9. AI を用いた乳腺超音波診断の開発</li> </ol>
	脳神経内科学	下畑 享良 TEL 058-230-6251 E-mail: shimohata@gmail.com	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経障害機序の解明と再生修復・神経保護薬の開発</li> <li>2. 免疫性神経疾患の成因と治療に関する研究</li> <li>3. 神経変性疾患の分子病態と治療法の開発</li> <li>4. 認知症の診断と治療に関する研究</li> <li>5. 高齢者及び神経難病の医療・福祉に関する研究</li> </ol>
脳神経科学	脳神経外科学	出雲 剛 TEL 058-230-6269 E-mail: izumo.tsuyoshi.n2@f.gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 血液脳関門モデルを用いた drug repositioning 研究</li> <li>2. 血管内皮グリコカリックス制御による脳虚血・神経障害・脳腫瘍の病態解明</li> <li>3. くも膜下出血モデルマウスを用いた遅発性虚血性脳障害の病態解明と画期的治療法の開発</li> <li>4. MRI, PET による高次脳機能の解析と脳腫瘍診断法に関する研究</li> <li>5. 神経再生医療に関する橋渡し研究を逆橋渡し研究</li> <li>6. 脳神経外科低侵襲手術法の開発</li> </ol>
	脳病態解析学 (連携大学院)	矢野 大仁 TEL 0574-24-2233 (独) 自動車事故対策機構中部療護センター E-mail: hirohito@herb.ocn.ne.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 遷延性意識障害・高次脳機能障害・その他臨床神経科学領域の疾患等の病態評価と治療に関する研究</li> <li>2. PET, SPECT, MRI, 脳波及び MEG などによる治療効果判定や機能的予後解析に関する研究</li> </ol>
	精神医学	塩入 俊樹 TEL 058-230-6259 E-mail: shioiri.toshiki.e4@f.gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神疾患の脳機能画像研究</li> <li>2. 精神疾患の自律神経研究</li> <li>3. 精神科診断学に関する研究</li> <li>4. 発達障害の疫学研究</li> <li>5. 災害精神医学に関する研究</li> </ol>
感覚運動医学	整形外科学	秋山 治彦 TEL 058-230-6330 E-mail: akiyama.haruhiko.m3@f.gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関節軟骨再生治療に向けた基盤研究</li> <li>2. 骨粗鬆症・骨疾患の病態と治療に関する研究</li> <li>3. 骨軟部腫瘍に対する分子制御治療に関する研究</li> <li>4. 脊椎椎間板再生に向けた基盤研究</li> <li>5. 運動器疾患のコンピューター動作解析研究</li> <li>6. ミトコンドリアエネルギー代謝と骨格の老化に関する研究</li> <li>7. 特発性大腿骨頭壊死症に対する新規治療法の開発</li> </ol>

講座	分野	指導教員	研究内容
感覚運動医学	リハビリテーション学	秋山 治彦 TEL 058-230-6330 E-mail: akiyama.haruhiko.m3@f.gifu-u.ac.jp	1. 足圧・歩行解析による高齢者の転倒リスクの研究 2. 動作解析に基づく疾患別・スポーツへの効果的リハビリテーションの研究 3. ロボット装具によるリハビリ支援の研究 4. 効果的な筋力増強訓練の研究 5. 遠隔リハビリテーションの研究
	皮膚科学	岩田 浩明 TEL 058-230-6390 E-mail: iwata.hiroaki.c1@f.gifu-u.ac.jp	1. 乾癬治療法の開発研究 2. 水疱症の発症機序の解明・新規治療開発 3. 膠原病の発症病理の分子学的研究 4. アトピー性皮膚炎の病態と皮膚バリア治療に関する研究 5. 皮膚悪性腫瘍の診断と治療に関する基礎的及び臨床的研究 6. 皮膚感染症の原因微生物同定法の研究 7. 皮膚バリアの形成・維持機構の解明
	形成外科学	小川 武則 TEL 058-230-6276 E-mail: ogawa.takenori.d2@f.gifu-u.ac.jp	1. 頭頸部再建法の適正化についてのAI診断、コンピューター支援手術の研究 2. 自家脂肪注入による乳癌手術後の乳房再建 3. その他、幹細胞移植などの新再建法 4. 遊離皮弁生着に関わる微小循環、移植床に関する研究
	眼科学	坂口 裕和 TEL 058-230-6284 E-mail: sakaguchi.hirokazu.f7@f.gifu-u.ac.jp	1. 人工硝子体、抗 VEGF 薬徐放基剤の開発 2. 網膜硝子体疾患に対する手術を中心とした新規治療法、診断方法の開発 3. 眼感染症における網羅的 PCR の有用性 4. 眼疾患における DNA、RNA、タンパク質、細胞の網羅的解析 5. AI を用いた緑内障と正常者との判別 6. 緑内障性視神経障害の画像解析法による検討 7. 緑内障手術における代謝拮抗薬の応用に関する研究
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	小川 武則 TEL 058-230-6276 E-mail: ogawa.takenori.d2@f.gifu-u.ac.jp	1. 頭頸部腫瘍個別化治療に向けたエピゲノム解析 2. 抗がん剤耐性メカニズムの解析 3. がん微小環境因子と免疫状態との関連性 4. 頭頸部癌治療後音声、嚥下障害に対する臨床研究 5. メニエール病の病態解明と新規治療の開発 6. 前庭障害のリハビリテーションに関する研究
	口腔外科学	山田 陽一 TEL 058-230-6353 E-mail: yamada.yoichi.p0@f.gifu-u.ac.jp	1. 間葉系幹細胞を用いた臨床応用・再生医療実用化に向けた開発研究 2. 口腔領域における低侵襲治療の開発 3. 歯髄由来幹細胞および細胞外小胞の機能解明 4. ES/iPS 細胞による研究 5. AI を用いた診断・治療技術の開発 6. 口腔癌に対する新規治療法の開発 7. ナビゲーションシステムを用いたガイドドサージェリーの開発

講座	分野	指導教員	研究内容
生体管理医学	麻酔科・疼痛医学	紙谷 義孝 TEL 058-230-6404 E-mail: kamiya.yoshinori.p2@f.gifu-u.ac.jp	1. 脳・脊髄微小循環に対する麻酔薬及び麻酔関連薬の影響の研究 2. 血管内皮機能と酸化ストレスに関する研究 3. 周術期の血小板機能に関する研究 4. 難治性疼痛制御に関する研究 5. グリア細胞における細胞内情報伝達に関する研究
	泌尿器科学	古家 琢也 TEL 058-230-6337 E-mail: koie.takuya.h2@f.gifu-u.ac.jp	1. 尿路性器悪性腫瘍の基礎的・臨床的研究 2. 排尿障害に対する臨床的研究 3. 泌尿器科領域のロボット手術手技の開発研究 4. 腎移植における臨床的研究 5. 尿路性器感染症の基礎的・臨床的研究
	救急・災害医学	未定	(参考) 1. 救急災害医療体制の研究 2. 救急医療情報の研究 3. 敗血症性ショックの研究 4. 外傷に関する研究 5. 航空医療に関する研究 6. 微小血管障害に対する超微形態学的考察 7. ホーミングペプチドを用いた新規敗血症治療の開発 8. 血栓症に関する研究 9. 生活習慣病における感染症の重症化要因の研究
	放射線医学	松尾 政之 TEL 058-230-6437 E-mail: matsuo.masayuki.e0@f.gifu-u.ac.jp	1. 核医学による癌の診断・脳機能測定 2. 膵癌および腹部の画像診断 3. Interventional Radiology 4. 悪性腫瘍に対する定位放射線治療, IMRT, IGRT 5. コンピュータ支援診断 (CAD) 6. 放射線生物学
	臨床検査医学	未定	(参考) 1. 腫瘍細胞における代謝と epigenome 状態変化 2. 腫瘍における網羅的遺伝子発現変化解析 3. 空間的解析技術を用いた病態解析
	臨床薬剤学	鈴木 昭夫 TEL 058-230-7080 E-mail: suzuki.akio.k5@f.gifu-u.ac.jp	1. 医薬品による副作用の発現機構と対策に関する研究 2. 治療的薬物血中濃度モニタリングに関する研究 3. 薬学的ケアの有用性に関する臨床研究 4. 抗菌薬適正使用推進 (antimicrobial stewardship) のアウトカム評価に関する研究 5. 医薬品の新規剤型開発に関する研究
	臨床病理学	原 明 TEL 058-230-6225 E-mail: hara.akira.y7@f.gifu-u.ac.jp	1. 以下の病理診断に関わる研究 ・ 細胞診断 ・ 生検組織診断 ・ 手術で摘出された臓器/組織の診断 ・ 手術中の迅速診断 ・ 病理解剖 2. 病理検体のゲノム診断への応用研究

講座	分野	指導教員	研究内容
生殖・ 発育 医学	小児科学	大西 秀典 TEL 058-230-6380 E-mail: ohnishi.hidenori.f1@f.gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 原発性免疫不全症の病態解明研究</li> <li>2. 遺伝性自己炎症性疾患の病態解明研究</li> <li>3. アレルギー疾患の病態解明研究</li> <li>4. アレルギー疾患の予防、治療研究</li> <li>5. 先天代謝異常症の病態解明研究</li> <li>6. 先天代謝異常症の治療開発研究</li> <li>7. 小児腫瘍性疾患の病態解明研究</li> </ol>
	産科婦人科学	磯部 真倫 TEL 058-230-6345 E-mail: isobe.masanori.g4@f.gifu-u.ac.jp	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビッグデータを用いた臨床疫学研究</li> <li>2. 婦人科癌におけるフェロトシスの治療応用</li> <li>3. 婦人科がんの低侵襲手術の臨床研究</li> <li>4. 産科出血治療における IVR の臨床研究</li> <li>5. がん生殖医療のための臨床研究</li> </ol>

## VI 過去5年間の入試統計

事項 年度	募集人員	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数	
令和2年度	47	47	(15) <44> 《2》	47	(15) <44> 《2》	45	(13) <42> 《2》	45	(13) <42> 《2》
令和3年度	47	42	(7) <40> 《1》	42	(7) <40> 《1》	38	(7) <40> 《1》	38	(7) <40> 《1》
令和4年度	47	59	(14) <57> 《0》	59	(14) <57> 《0》	58	(14) <56> 《0》	58	(14) <56> 《0》
令和5年度	47	51	(12) <47> 《3》	51	(12) <47> 《3》	49	(11) <45> 《3》	47	(11) <43> 《3》
令和6年度	47	59	(13) <56> 《3》	59	(13) <56> 《3》	55	(12) <52> 《3》	53	(11) <50> 《3》

( )は女子, < >は社会人, 《 》は外国人留学生をすべて内数で表します。

(注) 10月入学予定者を除く (R6.5.1現在)

**岐阜大学大学院医学系研究科 医学科学務係**

〒501-1194 岐阜市柳戸 1 番 1

電 話: 058-230-6079

F A X: 058-230-6074